

2015 年度 JAMS 会員総会議事録

事務局

2015 年 12 月 12 日(土)、立教大学新座キャンパスにおいて 2015 年度日本マレーシア学会(JAMS)の会員総会が行われた。

【議長選出】

西芳実会員が議長に選出された。

【報告事項】

担当の各委員から活動内容に関する報告が行われた。

1. 運営委員長

篠崎香織運営委員長代行(以下、篠崎運営委員長)より、以下の 2 件について報告された。

2016-17 年度の会長選挙にあたり、会長選挙規程第 2 条第 2 項に基づき、鈴木陽一委員を選挙管理委員に任命し、2015 年 6 月 2 日に会員 ML で公示した。

山本博之運営委員長が 2015 年 6 月 3 日より長期海外出張により不在となるため、会則第 6 条第 6 項に基づき、篠崎香織委員を運営委員長代行に任命した。

2. 事務局

総務

篠崎委員より、JAMS が参加している学会等の連合体に関して以下の報告があった。

(1)地域研究コンソーシアム(JCAS)の活動について。JAMS は幹事組織として JCAS の運営を担っており、現在の JCAS 会長は JAMS の宮崎恒二会長。JCAS は、次世代支援や学会連携などの公募プログラム、地域研究コンソーシアム賞の顕彰な

どを実施している。今年度の年次集会は 2015 年 11 月 1 日に東京外国語大学で行われた。来年度は京都大学で行われる予定。各種公募を含む JCAS の活動は、主要なものは事務局からも案内するが、各会員には JCAS ホームページまたは JCAS メールマガジンを参照していただきたい。

(2)地域研究学会連絡協議会(JCASA)の活動について。JCASA の加盟学会が支払う会費は 2 年間で 5000 円。主な活動は総会のみであり、2015 年 11 月 29 日に総会が行われた。

会計

光成歩委員より配布資料をもとに 2015 年度の会計中間報告が行われた。

会員情報

光成委員より以下の報告がなされた。

(1)会員数

2015 年 11 月 30 日の時点で正会員数は 202 名であり、2014 年度の会員総会時から 1 名増。賛助会員は、2015 年 4 月 1 日にマレーシア国立博物館ボランティア日本語ガイドグループが教育研究賛助会員として入会したことにより 2 組織となった。

(2)権利の停止および除籍

39 名の会員が権利の停止の対象者(2012 年度以降の会費滞納者)となっている。なお、2014 年度に発行予定だった会誌第 4 号の実際の発行が今年度になったため、今年度から権利の停止の対象となる会員については権利の停止の措置を猶予している。

(3)名簿の発行

2015 年 12 月に会員名簿を発行予定。

ウェブサイト

新井和広委員により今年度の活動について以下の 2 件の報告がなされた(篠崎運営委員長代読)。(1)各地区活動、関連研究会等のお知らせの掲載を着実に続けている。(2)「The Daily NNA マレーシア版」に毎月掲載されている「知識探訪」の記事を PDF ファイルでウェブサイト上に再録し、今後も月一回の更新を予定している。

年度内の活動に関して、研究会等の情報の迅速な掲載、見やすいウェブサイト構築を行う。JAMS ウェブサイトに対するご意見やご要望があれば事務局までお寄せいただきたいとの呼びかけがなされた。

3. 研究連携ウイング

研究企画

吉村真子委員より以下の報告がなされた。在日マレーシア人留学生会の国際シンポジウムに吉村委員が企画やスピーカーについての助言・紹介・支援協力を行い、同シンポジウムに吉村委員がスピーカーとして参加した。

地区活動

(1) 関東地区

福島康博委員より関東地区の活動計画が報告された。

(2) 関西地区

多和田裕司委員より以下の報告がなされた。(1)2015年4月25日に国立民族学博物館において関西地区研究会を開催した。信田敏宏会員の案内によりリニューアルされた東南アジア展示を見学した後、信田会員による「イスラム化と先住民」というテーマでの研究報告が行われた。関連する展示を先に見学することで通常とは違った興味深い研究会になり、ご尽力頂いた信田会員にあらためて感謝したい。なお、この研究会は 2014 年度中に

行う予定だったが、調整がつかずに年度を越えての開催になったことをお詫び申し上げる。

2015 年度は例年通り 2 月ないし 3 月に研究会を実施すべく検討中である。

大会

舛谷委員より 2015 年度研究大会の開催について以下の 2 件の報告がなされた。(1)2015年12月12日(土)、13日(日)に立教大学新座キャンパスを会場として 2015 年度研究大会を開催する運びとなった。(2)2015年6月25日に個別研究報告とポスターセッション企画を募集した。個別研究報告は 9 月 30 日の応募締め切りまでに 1 件の応募にとどまったため、10 月 16 日に再募集を行った。10 月 31 日の応募締め切りまでに個別研究報告 5 件、セッション企画 1 件、ポスターセッション 4 件の応募があり、すべて採択した。シンポジウムは大会委員により「現代マレーシアの舞台芸術と文化政策」を企画した。

連携研究会

篠崎運営委員長より、連携研究会は JAMS 会員が中心になって組織する研究活動であり、運営方針・予算に関して JAMS から独立して行うものであること、連携研究会の登録は一年ごととすること、また、過去 1 年間に活動が行われていない連携研究会は特に申し入れがある場合にのみ連携研究会を継続するなどが確認された。そのうえで、現在登録されている連携研究会の活動について以下のように報告があった。

・クアラルンプール地区研究会

特に報告する活動は行っていない。

・「ジャウィ文献と社会」研究会(坪井)

公開による活動は行っていない。

・マレーシア映画文化研究会(篠崎)

篠崎会員より下記 2 つの活動について報告された。(1) 2015 年 4 月 11～17 日、混成アジア映画研究会等との共催により六本木シネマートにてマレーシア映画ウィークを実施した。期間中、4 月 13 日および 15 日に「色で見分ける、多様な言語——多色字幕版『細い目』」の上映および発表を行った。(2) 9 月 20 日、チャンネルシティ博多貸会議室にて九州シネアドボ・ワークショップ「変身するインドネシア——力と技と夢の女戦士たち」を開催した。

4. 社会連携ウイング

篠崎運営委員長より、JAMS の社会連携活動について以下の報告がなされた。

・「知識探訪」

マレーシアで発行されている邦字紙『NNA マレーシア』に本学会の会員がコラム「知識探訪」を毎月掲載している。執筆者は会員の自薦による。積極的な応募を期待する。

・マレーシア国立博物館への講師紹介

マレーシア国立博物館の日本語ボランティアガイド・グループが行っているマレーシア事情研修に対して JAMS 会員を講師として紹介している。10 月 31 日に研修が行われ、12 月 12 日にも行われる予定。

5. 会誌編集委員会

金子芳樹編集副編集委員長より、会誌『マレーシア研究』について以下の 3 件の報告がなされた。

(1) 第 4 号を 2015 年 11 月 30 日付けで発行した。

(2) 第 5 号については、2016 年 3 月 31 日を締め切りとして投稿(論説、研究ノート、書評論文、書評)を募集している。

6. その他

篠崎運営委員長より、地域研究コンソーシアム(JCAS)の学会連携プログラムに応募し、東南アジア学会および東京大学持続的平和研究センター CDR との共催により、2015 年 7 月 19 日に東京大学山上会館にて「東南アジアの移民・難民に関する緊急研究集会」を実施したことが報告された。

【審議事項】

1. 2014 年度の会計報告について

前年度の会計担当である坪井委員より、配布資料に基づいて 2014 年度の会計報告がなされ、宮崎恒二監査より監査結果が報告され、いずれも承認された。

2. 会長選挙について

鈴木陽一選挙管理委員より会長選挙に関して以下の報告がなされた(篠崎運営委員長代読)

2015 年 9 月 11 日、「会長候補の推薦について(お願い)」と題する文書を「日本マレーシア学会 2016-2017 年度会長候補推薦・被推薦資格者名簿」とともに会員 ML にて公示し、推薦資格のある会員に 9 月 30 日までに次期会長の推薦をするよう依頼した。推薦資格者・被推薦資格者の決定にあたっては、8 月 3 日に会員 ML にて発出した通知に従い、8 月 31 日の会費の納入状況によって決定した。その結果、篠崎香織会員、坪井祐司会員、山本博之会員から金子芳樹会員を次期会長に推薦するとの有効な推薦書が期日までに選挙管理委員に届いたため、会長選挙規程第 5 条第 1 項に基づき、選挙管理委員は金子芳樹会員を次期会長予定者と認定し、10 月 10 日、その旨を公示した。なおその間、もう一通有効な推薦書が届いたが、推薦者からこれを取り下げるとの申請があった。正式な公示の前の申請であったこと、また推薦者・被

推薦者全員の同意によつての申請であつたことにより、選挙管理委員としてこの申請を了承した。

これについて審議され、金子芳樹会員を次期会長とすることが承認された。任期は 2016 年 4 月 1 日より 2018 年 3 月 31 日までの 2 年間。

3. 2016 年度～2017 年度の運営体制について

金子次期会長より次期運営委員長候補者として篠崎香織会員が指名され、篠崎会員より次期運営委員会および次期監事候補者が以下のように紹介され、いずれも承認された。

運営委員会

・事務局

総務 山本博之(ウェブサイト管理を兼務)

会計・会員情報 光成歩

・関東地区

舩谷鋭、福島康博

・関西地区

多和田裕司、黄蘊

・研究大会

山本博之、鈴木絢女

・社会連携

西芳実

・会誌編集委員会

編集委員長 祖田亮次

編集委員 信田敏宏、坪井祐司

編集委員(事務局) 篠崎香織、山本博之、光成歩

監事

監事 宮崎恒二

また、事務局を北九州市立大学(篠崎香織研究室)に置くことが報告された。

4. 2016 年度の研究大会について

山本委員より、2016 年度の研究大会は 2016 年 12 月 10 日(土)、11 日(日)に京都大学稲盛財団記念館で行うこと、ただし日程は 2016 年度に入つて会場校の都合を踏まえて確定すること、自由研究発表と企画シンポジウムを行い、自由研究発表の報告者は 2016 年度に入つてから募集することが提案され、承認された。

5. 2016 年度の予算案について

光成委員より、配布資料にもとづき 2016 年度予算案が提示され、承認された。

以上